

## ◆ 2022 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：さいたま百景選定市民委員会

25A-44

代表者：会長 相田 武文

URL : <https://saitama100kei.info>

### 1. 活動が必要とされた状況

当委員会では、2010年に『市民が選んだ さいたま百景』を発行し、現在は、その姉妹編である『明日に引き継ぐ さいたま百景（仮題）』の発行を目指している。2019年から新企画をスタートさせ、2024年の発行を目指して、さいたま百景選定委員会のメンバー等により、鋭意編集作業を行っている。

2010年発行『市民が選んだ  
さいたま百景』の表紙



### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

- ① 2022年度は、「編集デザインチーム」（外部メンバー2名）に委託して、新しい書籍の編集デザイン方針を検討するとともに、ページレイアウトのひな形の作成を行った。
- ② 一方で、当委員会の中に17名による「新さいたま百景編集チーム」を設置して、編集作業をおこなっている。
- ③ 上記のデザイン方針、ページレイアウト案に基づき、風景カタログを構成する21シリーズごとの考え方の整理、掲載風景の選定、風景の説明文等を検討する「編集ワークショップ」を行っている。
- ④ 2022年度下期における「編集ワークショップ」の開催経緯は以下のとおり。  
10/16、10/30、11/20、12/11、12/25、2023年1/15、1/29、2/12、2/26、  
(3/19、4/2、4/16) \* ( )は予定
- ⑤ 「編集ワークショップ」は、市民活動サポートセンターのロビーで対面により行い、毎回、各シリーズの担当者をはじめとした12~15名程度が参加して検討を行っている。
- ⑥ また、「第3章 さいたま百景その後」についても、担当チームを立ち上げて、調査・編集作業を開始している。

### 3. 活動の成果

- ① 「編集デザインチーム」の作業により、新しい書籍の構成と編集デザイン方針、第2章 明日に引き継ぐさいたま百景（風景カタログ）部分のページレイアウト案を決定することができた。
- ② 編集スタッフによる風景の調査、編集作業、編集ワークショップでの検討によって、第2章部分について、おおむね80%の編集を終えることができた。

### 4. 今後に残された課題

2023年度は、編集スタッフによる編集作業をまとめるとともに、その結果を順次編集デザインチームに渡して、書籍のデザイン、印刷データの作成を行う。

そして、2024年4月以降における印刷発注、書籍の発行を目指す。